

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2020年6月14日 NO.1055

きらとみひこ
吉良富彦 です

事務所
新屋敷事務所 823-5878
薊野事務所 846-2046
県議会控室 823-9524

高知県内医師・歯科医師 病院は半年持たない

高知保険医協会 コロナ受診控え深刻

●この5月、高知県内の医師や歯科医師の組織

「高知保険医協会」がアンケート調査を実施。医科の8割以上、歯科医師の9割以上で収入減となっています。給料が払えない、半年持たないなどの声が上がっています。

一方、患者がまず受診するのは、クリニックや発熱外来、救急外来です。(右図；大泉生協病院斎藤院長)最も感染リスクがある身近な医療関係者が患者減で存続の危機を迎えているという事になります。

感染症対応医療従事者 ●5月臨時県議会は、感染症指定医療機関、入院協力医療機関、帰国者・接触者外来への特殊手当支給案(3~4千円)を可決しましたが、アンケートにあるように、かかりつけ医など開業医等への支援が急がれます。

入院の前には必ず外来診療がある

- 医療は自己犠牲の上に成り立つものではない。まずは医療従事者の安全の確保から始まる(戦争とは違う)
- 個人予防具の不足：病院外来・クリニック・在宅
- 雑多の中にCOVID-19が混在
- トリアージ加算 300点だけ
- 人手と時間は倍以上、危険が大きい。
- 医療機関のリスク：院内感染 医業停止



「ヤラリンにゃんでも通信」が必要

赤旗囲碁・将棋大会中止

日本最大規模のアマチュア大会「全国囲碁・将棋大会(赤旗名人戦)」の実行委員会は、「第57回赤旗囲碁・将棋県大会」はコロナ感染の収束が見通せない中、全国大会の中止を発表しました。

これを受けて、高知県大会も中止とすることを同実行委員会が発表しました。

楽しみになさっていた皆様のご理解、どうか、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせは 088-824-1155 まで。

●日本を中国のような監視社会にするスーパースティイ法案可決

5月27日、コロナ対策に紛れて安倍自公政権はスーパースティイ法案(国家戦略特区法改定案)を採決した。

安倍がスーパースティイ構想のお手本としているのは、中国、杭州市。街全体のIT化が世界で一番進んでおり、街中には監視カメラ数千台が設置されています。それは裏を返せば、政府・大企業が顔認証技術を使って、国民の監視を徹底しているという事です。中国ではウイグル族弾圧や民主化を求める活動家の拘束に役立っている。いま重要なことは、個人情報保護しつつ、先端技術を住民福祉の向上に生かすこと、自治体が導入しないよ